

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和6年 6月 24日

堺市長 殿

提出者

住 所 大阪市住之江区北加賀屋3-3-44

氏 名 オーエム工業株式会社

代表取締役社長 高松 良行

(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 06-6685-0666

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和5年度の産業廃棄物

処理計画の実施状況を報告します。

事 業 場 の 名 称	オーエム工業株式会社 泉北工場
事 業 場 の 所 在 地	堺市西区築港浜寺西町6
事 業 の 種 類	溶融亜鉛めっき加工
産業廃棄物処理計画における 計 画 期 間	令和5年4月～令和6年3月

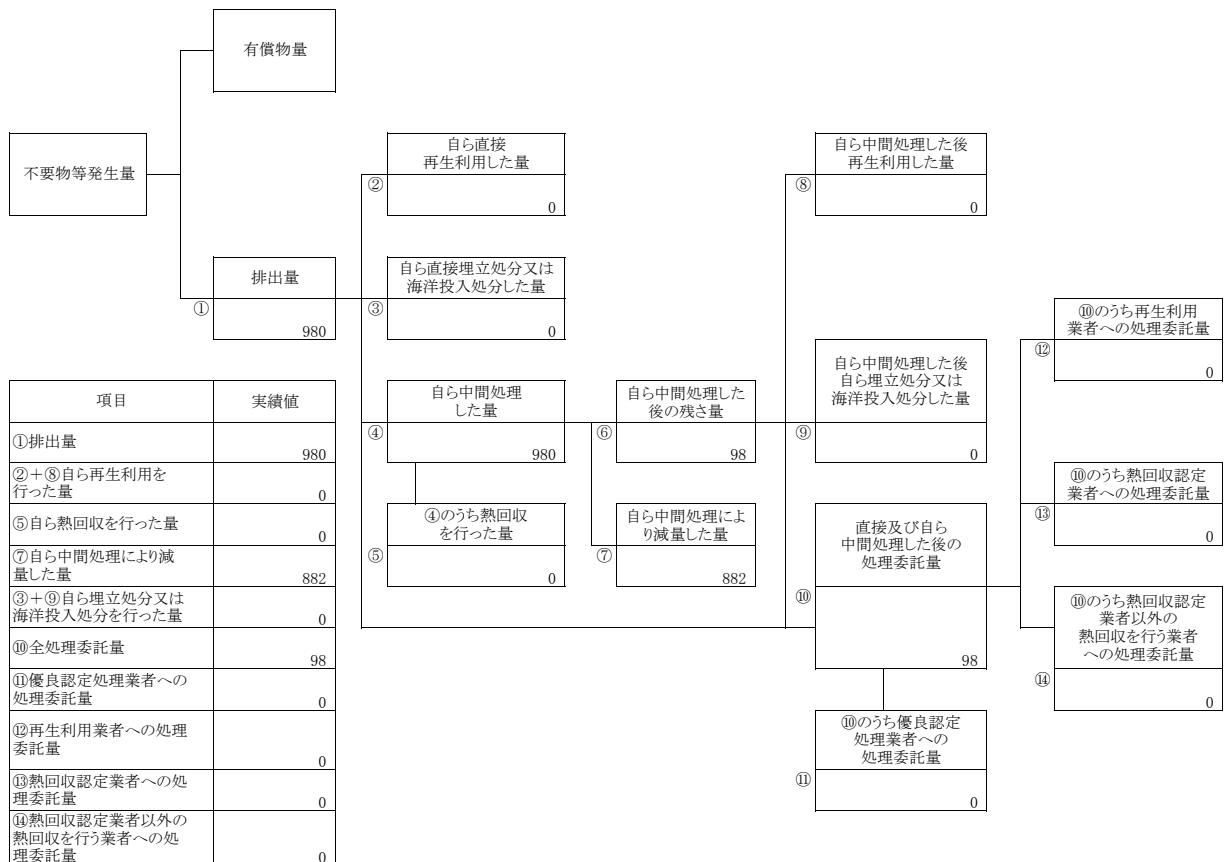
産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排 出 量	900t	全 処 理 委 託 量	90t
自 ら 再 生 利 用 を 行 う 産 業 廃 棄 物 の 量	t	優 良 認 定 処 理 業 者 へ の 処 理 委 託 量	t
自 ら 热 回 収 を 行 う 産 業 廃 棄 物 の 量	t	再 生 利 用 業 者 へ の 処 理 委 託 量	t
自 ら 中 間 処 理 に よ り 減 量 す る 産 業 廃 棄 物 の 量	900t	認 定 热 回 収 業 者 へ の 処 理 委 託 量	t
自 ら 埋 立 処 分 又 は 海 洋 投 入 処 分 を 行 う 産 業 廃 棄 物 の 量	t	認 定 热 回 収 業 者 以 外 の 热 回 収 を 行 う 業 者 へ の 処 理 委 託 量	t
※事務処理欄			

(日本工業規格 A列4番)

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: ①無機性汚泥)



備考

- 1 翌年度の6月30日までに提出すること。
- 2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- 3 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
- 4 第2面には、前年度の産業廃棄物処理に関して、①～⑯の欄のそれぞれに、(1)から(16)に掲げる量を記入すること。
 - (1) ①欄 当該事業場において生じた産業廃棄物の量
 - (2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
 - (3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
 - (4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
 - (5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
 - (6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
 - (7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
 - (8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
 - (9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
 - (10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
 - (11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令 第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量
 - (12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
 - (13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律 第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量
 - (14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
- 5 第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
- 6 産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。
- 7 ※欄には、何も記入しないこと。

産業廃棄物処理計画実施状況報告書の〔別紙〕

提出者	名 称	担当部署	担当者名	電話番号	FAX	電子メールアドレス
産業廃棄物を排出する事業者を統括的に管理する支社等の行方不明の場合は、当該支社等の名称	報告担当部署の名称	報告担当部署の氏名	報告担当部署の電話番号	報告担当部署のFAX番号	報告担当部署の電子メールアドレス	
港市西区豊港浜寺西町6	オーエム工業株式会社 津北工場	施設グループ				

産業廃棄物の種類 参照	計画の実施状況										(注)=①+②+③+④+⑤+⑥+⑦+⑧+⑨+⑩+⑪+⑫+⑬+⑭+⑮+⑯+⑰+⑱+⑲+⑳	③+⑩ 自ら再利用分又は海 洋投棄を行った量	③+⑩ 自ら再利用 分又は海 洋投棄を行 った量				
	①排出量	②自ら直接 再生利用した量 (t)	③自ら直接埋立 料又は海洋投 棄又は海洋投 入区分した量(t)	④自ら中間処理 熱回収を行った量 (t)	⑤自ら中間処理 により減量した量 (t)	⑥自ら中間処理 した後再生利用 自ら埋立料又は海 洋投棄区分した量(t)	⑦自ら中間処理した 自己処理した後の 自ら埋立料又は海 洋投棄区分した量(t)	⑧自ら直接及び自ら 中間処理した量 ⑨再生利用率への 販路委託量(t)	⑩熱回収定着者 への販路委託量(t)	⑪熱回収定着者 以外の販路委託量(t)	⑫その他の中間処 理者への販路委託量(t)	⑬熱回収定着者 への販路委託量(t)	⑭熱回収定着者 への販路委託量(t)	⑮熱回収定着者 への販路委託量(t)			
ヨーク 名 称																	
コード 産業廃棄物の種類 参照	発生した産業廃棄物 の種類ごとの量 から再生利用した量	①の量のうち、中間 処理せざる直接 再生利用した量又 は海洋投棄区分し た量	②の量のうち、中間 処理せざる直接 再生利用した量又 は海洋投棄区分し た量	③の量のうち、中間 処理せざる直接 再生利用した量又 は海洋投棄区分し た量	④の量のうち、中間 処理せざる直接 再生利用した量又 は海洋投棄区分し た量	⑤の量のうち、中間 処理せざる直接 再生利用した量又 は海洋投棄区分し た量	⑥の量のうち、中間 処理せざる直接 再生利用した量又 は海洋投棄区分し た量	⑦の量のうち、中間 処理せざる直接 再生利用した量又 は海洋投棄区分し た量	⑧の量のうち、中間 処理せざる直接 再生利用した量又 は海洋投棄区分し た量	⑨の量のうち、中間 処理せざる直接 再生利用した量又 は海洋投棄区分し た量	⑩の量のうち、中間 処理せざる直接 再生利用した量又 は海洋投棄区分し た量	⑪の量のうち、中間 処理せざる直接 再生利用した量又 は海洋投棄区分し た量	⑫の量のうち、中間 処理せざる直接 再生利用した量又 は海洋投棄区分し た量	⑬の量のうち、中間 処理せざる直接 再生利用した量又 は海洋投棄区分し た量	⑭の量のうち、中間 処理せざる直接 再生利用した量又 は海洋投棄区分し た量	⑮の量のうち、中間 処理せざる直接 再生利用した量又 は海洋投棄区分し た量	
1 220 ①無機性汚泥	980		980	98	882			98				98			98	0	0
2 ②															0	0	0
3 ③															0	0	0
4 ④															0	0	0
5 ⑤															0	0	0
6 ⑥															0	0	0
7 ⑦															0	0	0
8 ⑧															0	0	0
9 ⑨															0	0	0
10 ⑩															0	0	0
11 ⑪															0	0	0
12 ⑫															0	0	0
13 ⑬															0	0	0
14 ⑭															0	0	0
15 ⑮															0	0	0
16 ⑯															0	0	0
17 ⑰															0	0	0
18 ⑱															0	0	0
19 ⑲															0	0	0
20 ⑳															0	0	0
合計	980	0	0	980	0	98	882	0	0	98	0	0	0	0	98	0	0

(注)ト�未満は原則として四捨五入。ただし、数字が有効であれば小数点以下3桁まで記載は可。

(注2)上記の産業廃棄物の種類以外の排出実績があった場合は、必要に応じ、直接追加入力とともに、第2面も追加してください。